

とがち・帯広FC

船越さくらカップサッカー大会報告書

大会結果

☆予選トーナメント

第1試合 とがち・帯広FC 3-0 TTKSC(埼玉)

第2試合 とがち・帯広FC 4-2 多治見FC(岐阜)

※悪天候のためPK

第3試合 とがち・帯広FC 3-1 フッチSC(千葉)

※悪天候のためPK

3勝で1位トーナメントへ

☆1位トーナメント

準決勝 とがち・帯広FC 3-1 横浜すみれ(神奈川)

決勝戦 とがち・帯広FC 4-0 MTC美松学園(東京)

参加32チーム中 第1位

2012.3.31~4.1

日本平会場他

とかちのサッカーは、静岡から！！

報告者 とかち・帯広FC(十勝トレセンU-12)

代表 北田 和敏
U-12監督 澁谷 直哉

冬期間、外でボールを蹴ることは皆無に等しい。その点から言っても、この船越さくらカップがとかちのサッカーの始まりといっても過言ではないだろう。今回も静岡をはじめ、神奈川や奈良などの他県とのチームと交流ができたことはとても大きな経験であり、今後のサッカー人生においても影響を与えてくれるものになっている。

我々、とかち・帯広FCのメンバーは、2月の北村遠征で浮き彫りになった課題のディフェンスを限られた時間と施設の中で、強化を図ることができた。しかし、広いピッチでのサッカーや11人制でのシステムやポジショニングなど、不安もある中の大会参加となった。

大会の結果は、32チーム中で1位という素晴らしい成績を収めることができたが、新たな課題もでてきたのも事実である。

我々が近年課題として、取り組んできた個の育成だが、厳しいマークの中でも自分の持ち味を生かせる場面が見ることができるようになってきた。さらにそれぞれの持ち味を生かせるようになるには、観て判断するプレーができるな選手の育成が必要になってくる。これらのことも今回の遠征を通じて、学ぶことができたのは、大きな成果と言っていいと思う。

なお、今回の大会も清水の船越サッカー少年団代表の鈴木さん、旅館日本閣さんはじめ、多くの関係者の方々に大変あたたかい歓迎を受け、充実した遠征となった。本当にありがとうございました。

終わりにになりましたが、この遠征に際しまして、十勝地区サッカー協会はじめ、十勝少年サッカー連盟の皆さま方、そして保護者の皆さまには、多大なご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。今後とも、十勝地区のレベルが高まるようスタッフ一同努力いたしますので、今まで以上のご指導、ご協力をお願いします。

3月31日(土) 11:00～ 清水小学校グラウンド 1回戦 VS TTC

前日は気温23度とまるで初夏のような天候だったが、この日は強い風と豪雨でまるで台風のような天候の中で行われた。

前日に船越小学校のグラウンドを借りて、4チームでリーグ戦を組んでいただいたお陰で、子ども達は久しぶりの外のグラウンドにも慣れることができた。

そして、初戦。開始早々左サイドでボールを回し、リズムを作る。

2分、右サイドでつなぎ、ペナルティエリア内でドリブルで突破を試みたところでファールをもらい、PKとなった。冷静に決めて待望の先制点。

その後も悪いグラウンドコンディションの中パスをつなぐが、ボールサイドばかりに視野が向いてしまい、なかなかサイドチェンジができず、狭い中でのプレーとなる。

一進一退が続き、相手チームも縦に抜けるチャンスが数回あったが粘り強くボールを追いかけて阻止する。

11分、12分と連続してゴール付近まで攻め、CKを得る。右CKからのこぼれ球をシュートし、2点目。

14分。攻め込まれるがボールを奪い攻撃に転じ、前半終了。

後半開始後、前線からプレスをかけ、ボールを奪い、中央付近でパスを回し攻める。

18分。相手にシュートまで持って行かれるが体を張った守りで防ぐ。

20分。中央から左サイドへのスルーパスが通り、チャンスとなるが、シュートがGK正面に飛んでしまう。

優勢に試合を進め、21分、23分と続けてCKを得る。

26分に逆襲を受けるが、体をうまく寄せて守り切る。

27分。ボールをつなぎながら攻めシュート。そのこぼれ球を拾い、粘ってシュートしゴール。3点目。

その後も優勢に進め、試合終了を迎えた。

暴風雨の中ではあったが、つなぎ意識が高く、苦し紛れの大きなキックはほとんどなかったところが良かった。課題としては、周りを見て考えて準備すること、攻めの時も守りの時も良いポジションをとることなどが確認できた。

2回戦、準々決勝は暴風雨とグラウンドコンディション、選手の健康状態への配慮などから、PKによる勝者決定戦となった。

とちぎ帯広FCは2回戦を4-2、準々決勝を3-1で勝ち、あこがれの日本平競技場でのプレーする権利をもぎ獲った。

4月1日(日) 8:30～ 船越小学校グラウンド 準決勝 VS すみれ

前日の天候がうそのように晴れ渡った。グラウンドも地元の船越サッカー少年団の皆様の尽力のおかげで水溜まりが消え、昨日のことを考えたら最高の状態だった。

開始直後、ボールへの対応が遅れているうちに3分、頭越しのシュートを決められ、先制される。

徐々にペースを取り戻し、インターセプトからチャンスを作る場面が増えてくる。

11分、13分とゴール前までパスをつなぎシュートまで持っていくが、シュートは枠を外れる。

14分。相手コート中央付近でファールを受けFKを得る。そのチャンスでしっかりとボールを蹴り抜き、待望の同点弾となる。

後半もパスをつなぎ優勢に攻め続ける。また、攻められても好判断の飛び出しや良いカバーリング、インターセプトなどで相手の反撃を止める。

21分。インターセプトから左サイドにつなぎ、パス交換からシュート。待望の追加点となる。

ここで、4選手が交代し、フレッシュな選手が走り回る。

26分。スローインからパスをつなぎ、だめ押しの3点目を奪う。

その後もパスをつなぎ攻め続け、試合終了のホイッスルを聞く。

次は、とうとうあこがれの日本平スタジアム。しかも決勝戦。最高のピッチが十勝の子ども達を待っている。

4月1日(日) 13:30～ アウトソーシングスタジアム日本平
決勝 VS 美松学園 20分ハーフ

競技場までの道の両側は満開の桜が咲き乱れ、まさに『さくらカップ』の名前通りになった大会。しかもJリーグで何度もベストピッチ賞に輝いている最高のピッチで闘える子ども達がとてもうらやましい。そして、前日にはコンサドーレ札幌もこのピッチで試合を行っているという偶然なのか、導いてくれたのか、とにかく子ども達にとっては最高の経験になるはずである。

ゲーム前、監督がこの大会のテーマである『声を出す』ことなどを確認し、ピッチに送り出す。

開始後、緊張が見られる選手達。こんな素晴らしいスタジアム、ピッチで、多くの観客が見ているため仕方ない面もあるが…。

蹴り合いに近い状態が続いたが、9分、中央から右サイドにつなぎ、ドリブルで縦に抜け出し、シュート。こぼれ球を詰め先制点。

直後にも右サイドを抜け出てシュート。歓声はやたらと大きく、盛り上がっていた。

その後は徐々にパスが繋がるようになり、ゴールへ迫る回数が増えるが、追加点は奪えずに前半終了。

後半開始早々続けてゴールへと迫る。スローインから中央→右サイドとつなぎ追加点を奪う。

3分。攻められて混戦の中からシュートされるが、枠を外れる。

5分。6分。7分と左サイドから攻撃を繰り返し、CKを得る。そのCKのこぼれ球を拾い、冷静に決め3点目を奪う。

徐々に攻撃が縦に急ぐようになり、相手にカットされる回数が多くなる。
38分。縦パスが通り、シュートまでいき、だめ押しの4点目を奪う。
そして、試合終了。優勝という最高の結果を得る。

選手の皆さん、優勝おめでとう！！

全員が素晴らしいピッチで走り回り、プレーしたことはやはり最高の経験になったであろう。また、課題もたくさん確認できたことは十勝のサッカーにとっても素晴らしい結果となった。

そして、選手達には素晴らしい経験をしたことで満足せずに、さらなる飛躍ができるように、この経験を生かし、一人一人が高い意識でトレーニングに取り組んでいくことを期待する。